

ハ、本省(國際觀光局、鐵道調査部、東京鐵道 病院ヲ含ム)ニ關スル本會事業執行ニ付テハ官房保健課長ニ於テ支部長ノ任務ヲ執ルコト

三、本會ノ事業ハ左ノ通トスルコト

1、慰問金等ノ贈與

イ、職員應召ノ場合 家族慰問金拾圓

ロ、應召者戦没ノ場合 弔慰金三〇〇圓、花輪又ハ之ニ代ルベキモノ二〇圓

ハ、應召者戦傷ニヨリ送還セラレタル場合 慰問金一〇〇圓

ニ、應召者重病ニヨリ送還セラレタル場合 慰問金五〇圓

ホ、應召者前二號ノ慰問金受領後死亡ノ場合 弔慰金二〇〇圓、花輪又ハ之ニ代ルベキモノ二〇圓

ヘ、以上各號ノ場合ニ於テ特殊ノ事情アルトキハ贈與額ヲ増減スルヲ得ルコト、又以上各號以外ノ場合ニモ慰問ノ必要アリト認ムルトキハ適當ノ贈與ヲ爲スコト

ト、前號ノ場合ハ其ノ都度會長ノ承認ヲ經ルコト

2、家族ノ見舞

毎月少クトモ二回適當ノ職員ヲシテ家族ヲ見舞ハシメ其ノ情態ヲ明カニシ希望等ヲ聽取シ後授方ニ付遺憾ナホラ期スルコト

3、従業員ヲ慰安スル諸催物ニ際シテハ必ラズ應召者(判任官以上ノ家族ヲ含ム)ノ家族ヲ招待スルコト

4、購買、醫療、乗車證等ノ諸待遇ニ付テハ之ヲ欠クガ如キコトナカラシムル様留意スルコト

5、應召者出征、凱旋、歸還等ノ場合ハ出來ルダケ盡力スルコト

四、本會ノ事業ニ要スル資金ニ充ツル爲會員ハ左記ニ依リ毎月贖金スルコト、但シ會長ハ必要ニ應ジ之ヲ増減又ハ停止スルコトヲ得

1、奏任官(待遇ヲ含ム)以上俸給月額ノ三分ノ一

2、其ノ他 俸給給料月額ノ五百分ノ一

本會ハ會員ノ外ヨリ寄附ヲ受クルヲ得ルコト

五、贖金及寄附金ノ收納、保管並ニ慰問金贈與其他ノ支出ニ關シテハ常任理事及支部長ニ於テ其ノ責ニ任ズルコト 常任理事ハ支部間ニ於ケル資金ノ調整ヲ計ルコト

六、各支部長ハ所管會務ノ概要ヲ毎月末ヲ以テ會長ニ報告スルコト 本報告ニ於テハ少クトモ左記各號ヲ明ニスルヲ要ス

應召者現數、應召者異動(對前回報告)、資金ノ收支

七、各支部長ハ少クトモ左ノ手配ヲ爲スコト

1、管下應召職員及其ノ家族ノ氏名、年齢、住所ヲ一定帳簿ニ登録スルコト、2、他管ニ住所ヲ有スル管下職員ノ家族ニ對スル後援方法ニ關シテハ支部間ニ於テ緊密ニ連絡ヲ保持スルコト、3、家族ヨリノ希望ニ對シテハ出來ルダケノ援助ヲ與フルコト、シ其ノ申出箇所ヲ豫メ熟知セシメオクコト

八、囑託及購買部雇傭人ニ付テモ本要領ニヨル取扱ヲ爲スコト

株式會社大塚工場

東京市芝區三田豐國町六六

工榮會應召者家族扶助規程

本會會員應召者ノ家族ニ對シ應召中左ノ通り家族扶助料ヲ支給ス

一、本會入會後一ケ年以上ニ於ケル場合

イ、應召會員ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スル者三人以上ナル場合一日ニ付工場所定各自時間給額ノ三時間分支給

ロ、同上家族一人以上三人未滿ノ場合ハ同上二時間分支給

二、本會入會後一ケ年未滿ノ場合

ハ、應召會員ノ收入ニヨリ生計ヲ維持スル者三人以上ナル場合一日ニ付工場所定各自時間給額ノ二時間分支給

ニ、同上家族一人以上三人未滿ノ場合ハ同上二時間分支給

尙以上ノ外應召會員ニ對シ何レノ場合ニ於テモ錢別金拾圓也贈ル

三、應召會員ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スルモノナキ場合ハ錢別金貳拾圓也ヲ贈ル

四、應召會員家族ニ對スル別紙會則第三十條ノ見舞金及弔慰金ハ之ヲ倍額支給ス

大同信號株式會社

東京市大森區大森二丁目

月給者應召ノ翌月ヨリ三ケ月間全額以後除隊迄ハ左ノ割合ニヨリ給與ス

一、應召者ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スルモノ三人以上ナル時月俸ノ六割

二、應召者ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スルモノ三人未滿ナル時月俸ノ四割

三、應召者ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スル者ナキ時ハ月俸ノ二割

日給者

A 應召ノ日ヨリ六十日全額(但シ六十日未滿ハ六十圓)ヲ給與ス

B 六十日以後除隊迄ハ左ノ割合ニヨル

一、應召者ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スル者三人以上ナル時日給三十日分ノ六割

二、同 三人未滿ナル時日給三十日分ノ四割

三、同 生計ヲ維持スル者ナキ時ハ日給三十日分ノ二割

工員

A 應召ノ日ヨリ定額日給ノ六十日分但シ六十圓未滿ノ者ハ六十圓ヲ給與ス以後除隊迄ハ左ノ割合ニヨル

一、應召者ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スル者三人以上ナル時定額日給三十日分ノ六割

二、同 三人未滿ナル時日給三十日分ノ四割

三、同 生計ヲ維持スル者ナキ時ハ日給三十日分ノ二割

二、會社其他ノ錢別金 月給者二十圓 日給者(工員)拾圓

應召者待遇實例(道 補)

應召者待遇實例(追 補)

四四八

應召勤務中ノ休職者ニシテ左記各員ノ一ニ該當スル時ハ左記割合ニ依リ本人又ハ其ノ遺族ニ慰勞金ヲ給與ス

三、戰死者(見舞香料等)
四、戰 傷 者

一、應召勤務中公傷疾病ノ爲再ビ會社又ハ他ニ就職不能トナリタル時
一、戰死シタル時

慰勞金ハ當人ノ在職年數(應召中モ含ム)勤務狀態及從來ノ退職手當ノ例並ニ職工扶助規則ヲ参照シテ普通退職手當金ヲ定メ其金額ノ三割ヲ加算シタル金額ノ範圍内ニ於テ之ヲ給與ス

五、社員 補充
六、從 業 員 補充
七、其 他

未 確 定

應召中ハ休職トシ除隊後ハ前給ヲ以テ復職セシム

三

秀

舎

東京市神田區美土代町十六

三秀舎出征者家族慰問後援會規約(抜萃)

第二條 本會會員ハ三秀舎勤務ノ全會員、工務員ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 本會ハ前條ノ目的ヲ達成スルタメ左ノ事業ヲ行フ

一、毎月會費ノ總額中ヨリ其一割ヲ控除シ出征者數ニ按分シタル割當額ヲ贈呈スルコト
二、控除金額ハ之ヲ貯蓄シ戰死者アリタルトキ弔慰金トシテ贈呈スルコト、但シ弔慰金ノ額ハ其都度役員會ノ協議ヲ經テ之ヲ定ム

三、後援慰問金ハ毎月始メニ於テ役員代表者ヲシテ應召者ノ家族ヲ慰問シ後援トシテ所定ノ金額ヲ贈呈スルコト

四、其他必要ト認ムル事項

第六條 慰問金贈呈ノ期限ハ本規約施行ノ月(十二年十月)ヨリ凱旋歸郷ノ月迄トシ之ヲ完了ス(戰死、傷病ノ爲除隊サレタル場合ハ本條ヲ適用ス)

第十六條 本會ノ會費ハ左ノ如ク定ム

一、金五十錢 月給百圓以上ノ者
但シ百圓以下ノ者ハ日給者ニ準ズ

應召者待遇實例(追 補)

四四九

應召者待遇實例(追 補)

- 一、金三十錢 日給四圓以上ノ者
- 一、金二十錢 同 參圓以上ノ者
- 一、金十五錢 同 二圓以上ノ者
- 一、金十錢 同 一圓以上ノ者
- 一、金五錢 同 五十錢以上ノ者

(註) 會員工務員總數四百人、會長 島信次氏 幹事長 須子貫一氏

ライオン石鹼株式會社

東京市本所區向島須崎町

出征軍人並同家族慰問會

第一條 出征軍人ノ歡送、出征家族ノ慰問(訪問並通信)並ニ家庭相談ノ給與其他一切ノ事項ヲ處理スル爲出征軍人並同家族慰問會ヲ制定ス

第二條 慰問資金ハ左ニ掲グルモノトス

- 一、會社ヨリ別ニ規程スル出征軍人手當及會社贖出金
- 二、従業員ヨリノ贈金

- 1、幹 部 五 圓
- 二級社員 二 圓
- 三級社員 一圓二十錢
- 四級社員 八 十 錢
- 五級社員 五 十 錢
- 其 他 二 十 錢

2、日給者 實收入ノ二百分ノ一

但シ右ハ毎月一回給料工賃ヨリ差引贖出セシム

應召者待遇實例(追 補)

應召者待遇實例(追 補)

三、食事ノ節約 一週一回副食物ノ節約

四、會員相互間交際費ノ節約等生活改善ノ申合セヲナシ夫等ニ依ル節約費ヲ割キテ寄附スルコト其他一切ノ寄附金

第三、四、五、六條(略)

第七條 本會資金ノ醸出割合ハ委員會ノ決議ヲ經テ必要ニヨリ増減スルコトアルベシ
第八條(略)

電機工業株式會社

東京市荏原區小山町

勳員令に依る軍事應召従業員待遇内規

第一條

工場従業員ニシテ應召スル者ハ休職ノ取扱ヲ爲シ除隊後ハ前職ニ就業セシム

一、應召者ハ入隊ノ際其ノ時日ヲ遲滞ナク届出ヲナシ除隊後二〇日以内ニ復職セザルトキハ其事情ヲ工場ニ届出テ許可ヲ受クベシ

但シ正當ノ理由ナク二〇日以上復職就業セザル者ハ退職者ト看做ス

第二條

休職期間中ハ日給及賞與金ヲ支給セズ又休職期間ハ勤續年數ニ加算セズ

應召休職者ニ對シテハ入營當月ヨリ三ヶ月間左記割合ニ依リ家族扶助手當金ヲ支給ス

一、應召者ノ收入ニヨリ生計ヲ維持スル者三人以上ナル時定備日給ノ六割

但シ時給制度ノ工場ニアリテハ定時間ヲ以テ一日ノ給料トシテ算定ス

二、應召者ノ收入ニヨリ生計ヲ維持スル者一人以上三人未滿ノ時定備日給ノ四割

三、應召者ノ收入ニヨリ生計ヲ維持スル者ナキ時ハ本扶助料ヲ支給セズ 任意餞別金ヲ贈呈ス

第三條

第二條ノ支給期間經過後六ヶ月間ハ左記割合ニヨリ家族扶助手當金ヲ支給ス

一、前條第一號ニ該當スル時 定備日給ノ四割

二、前條第二號ニ該當スル時 定備日給ノ三割

應召者待遇實例(追 補)

應召者待遇實例(追 補)

四五四

- 第四條 前二條ノ手當金ハ休職應召者復歸シタル時又ハ除隊歸郷一週間以後ハ支給セズ
- 第五條 休職應召者死傷癆疾ニヨリ復歸シ得ザル者ニハ退職手當金其他ノ諸給與ヲ精算支給スルモノトス
- 第六條 雇主ハ時々應召兵士ノ家族ヲ慰問シ疾病其他生活上ニ付適宜注意ヲナス
- 第七條 徵發令ニヨリ召集セラレタル従業員ニハ本内規ヲ適用セズ

附 則

此申合内規ハ時局ノ狀況ニヨリ變更スルコトアルベシ

七月廿四日

以上

帝國食品株式會社

東京市荒川區尾久町六丁目

- 一、應召中支給額其期間
 - 有家族者 三人以上 三ヶ月間六割 以後六ヶ月間四割
 - 同 (三人未満) 三ヶ月間四割 以後三ヶ月間三割
 - 獨身者—餘別金ノミ任意贈與
- 二、會社其他ノ餘別金 若干贈與
- 三、戰死者(見舞香料等)
- 四、戰 傷 者 未 確 定
- 五、社 員 補 充
- 六、從 業 員 補 充
- 七、其 他 應召期間中ハ休職待遇トス

應召者待遇實例(追 補)

四五五

日本紙業株式會社

東京市四谷區元町

北支事變應召者待遇規程

- 一、職員及準職員並ニ見習生ハ應召ノ月ヨリ除隊ノ月迄俸給月手當ノ全額ヲ支給ス
- 一、職工及守衛、自動車運轉手、小使ハ應召ノ月ヨリ除隊ノ月迄左ノ通り支給スルモノトス
 - イ、有家族者(家族扶養ノ義務アル者)給料ノ八割
 - ロ、獨身者(同扶養ノ義務ナキ者)給料ノ五割
- 但シ獨身者ト雖モ本人ノ收入ニヨリ扶養スル家族アル者ハ調査ノ上有家族者ノ場合ニ準ズルコトヲ得
- 一、餞別金 職員準職員、見習生) 五〇圓

職工 三〇圓

備考

- イ、職工ノ給料トハ月給者ニアリテハ職務上ノ手當、又ハ時間外勤務割増並ニ之ニ類スル諸手當ヲ含マサルモノニシテ、日給者ニアリテハ右ノ外公休日ヲ除キ計算シタル月收額ヲ標準トス
- ロ、請負制度ニヨル職工ノ日給基準ハ健康保險標準報酬日額ニ依ル
- ハ、應召中ノ職員、職工ノ諸積立金ノ取扱ハ從來ノ例ニ依ル

以上

三共株式會社向島工場

東京市向島區寺島町七ノ二〇七

傭員(工手ヲ含ム)軍務ノ爲召集サレタル場合ノ給與及餞別ニ關スル件

- 一、軍籍ニアル傭員(工手ヲ含ム)ガ戰時若ハ事變ニ際シ召集サレタル場合ノ給與ハ左ノ計算ニヨリテ支給ス
 - イ、召集サレタル日ヨリ九十日間ハ三十日ニ付日給二十六日分ヲ支給ス
 - ロ、前項ノ期間後一ケ年間ハ一日ニ付日給ノ百分ノ六〇宛三十日間毎ニ二十六日分ヲ支給ス
 - ハ、前二項ノ期間後猶引續キ服務スル者ノ給與ハ其都度之ヲ定ム
 - ニ、應召中ノ給與ハ除隊ノ日ヲ以テ廢ス
- 二、餞別金ハ左ノ區別ニヨリテ之ヲ贈與ス
 - イ、勤続三年未満ノ者 金二〇圓
 - ロ、勤続三年以上五年未満ノ者 金三〇圓
 - ハ、勤続五年以上ノ者 金五〇圓
- 三、本規定ハ軍屬トシテ徵發サレタル者ニ對シテモ之ヲ適用ス
但シ徵發ニヨリ賠償アル場合其賠償額ガ會社ノ給與ヨリ少額ナル時ハ其ノ差額ヲ支給ス
- 四、臨時工手軍務ノ爲メ召集サレタル場合ノ給與及餞別ハ左ノ通トス
 - イ、三ヶ月間日給二十六日分支給
 - ロ、右期間中除隊サレタル場合ハ除隊ノ日限り給與ヲ廢ス
 - ハ、餞別金ハ拾圓贈與ス

應召者待遇實例(追 補)

應召者待遇實例(追 補)

四五八

大島製鋼所

東京市城東區大島町四丁目一

一、應召中支給額其期間

應召三ヶ月間
有家族者(三人以上)六割、以後六ヶ月間四割
同 (三人以内)四割、同 三割
獨身者、餞別金二〇圓、他へ支給セズ
臨時職工、定夫へ前記手當金ノ各七割相當額

二、會社其他ノ餞別金

夫々若干贈與

三、戰死者(見舞香料等)

四、戰 傷 者

五、社 員 補 充

未 確 定

六、從 業 員 補 充

七、其 他

凸版印刷株式會社

東京市下谷區二長町一

一、應召中支給額其期間

特別手當金

月給者、六ヶ月間二分ノ一乃至三分ノ一
日給者、六ヶ月間二分ノ一乃至三分ノ一

右期間以後へ別ニ考慮ス

二、會社其他ノ餞別金

月給者、俸給一ヶ月分(五〇圓)
日給者、日給二週間分

但シ役付職員へ別ニ考慮ス

三、戰死者(見舞香料等)

四、戰 傷 者

夫々別ニ考慮ス

五、社 員 補 充

六、從 業 員 補 充

他

應召中へ休職トシ勤続年數ニ加算ス

應召者待遇實例(追 補)

四五九

日本カーボン株式會社

横濱市神奈川區神奈川通九丁目

一、應召中支給額其期間

有家族者—一ヶ月間全額—以後六ヶ月間八割

獨身者—右

同—同

半額

臨時工

有家族者—一ヶ月八割—以後六ヶ月—六割五分

獨身者—右

同—同

四割

右期間以後ハ別ニ考慮ス

傭夫、技工、技工補—金三〇圓

臨時傭夫

金二〇圓

二、會社其他ノ錢別金

三、戰死者(見舞香料等)

四、戰 傷 者

五、社 員 補 充

六、從 業 員 補 充

七、其 他

夫々別ニ考慮ス

應召中モ在籍ノママトス

日本ペイント株式會社

大阪市西淀川區浦江北四丁目

一、應召中支給額其期間

勤續六ヶ月以上ノ者

有家族者—六ヶ月間三分ノ二 以後期間中二分ノ一

獨身者—同 二分ノ一 以後期間中三分ノ一

勤續六ヶ月以内ノ者

有家族者—六ヶ月間二分ノ一

獨身者—同 三分ノ一

二、會社其他ノ錢別金

一律ニ金二〇圓

三、戰死者(見舞香料等)

四、戰 傷 者

五、社 員 補 充

六、從 業 員 補 充

七、其 他

別ニ考慮ス

應召者待遇實例(追 補)

應召者待遇實例(追補)

四六三

東京理工株式會社

東京市

一、應召中支給額其期間

將校下士官—應召中差額支給

下士官以下—六ヶ月間八割、以後六割支給

職 工 有家族者—應召中給料ノ半額支給

獨身者—同 三分ノ一支給

二、會社其他ノ餞別金

俸給一ヶ月分(日給者ハ日給一月分)

三、戰死者(見舞香料等)

未確定

四、戰傷者

五、社員補充

補充ス

六、従業員補充

七、其他

應召中ハ休職トス

東洋無線電信電話株式會社

東京市芝區西應寺町五一

一、應召中支給額其期間

勤続一年未滿ノ者—一ヶ月全額以後

有家族者—三分ノ二
獨身者—三分ノ一

同 一年以上三年未滿ノ者三ヶ月間全額以後

有家族者—三分ノ二
獨身者—三分ノ一

同 三年以上ノ者—三ヶ月間全額以後

有家族者—全額支給
獨身者—二分ノ一支給

二、會社其他ノ餞別金

金二〇圓

三、戰死者(見舞香料等)

未確定

四、戰傷者

五、社員補充

六、従業員補充

七、其他

應召中ハ休職トス

應召者待遇實例(追補)

四六三

應召者待遇實例(追 補)

四六四

大日本自轉車株式會社

東京市本所區業平町二丁目

一、應召中支給額其期間

手當支給セズ

二、會社其他ノ錢別金

勤続三年以上ノ者 金三〇圓
勤続二年以内ノ者 金二〇圓
勤続一年未滿ノ者 金一〇圓

三、戰死者(見舞香料等)

四、戰 傷 者

未 確 定

五、社 員 補 充

六、從 業 員 補 充

七、其 他

應召中モ勤続年數ニ通算ス

宮 田 製 作 所

東京市大森區大森三ノ五五

一、應召中支給額其期間

有家族者—三ヶ月間日給全額(日給二十六日分)以後三ヶ月六割

獨身者—給料一ヶ月分ヲ錢別トシ別ニ支給ナシ

親交會ヨリ金一封、他ニ應召本籍地ニ到ル旅費ヲ給與ス

二、會祀其他ノ錢別金

三、戰死者(見舞香料等)

四、戰 傷 者

考 慮 中

五、社 員 補 充

六、從 業 員 補 充

七、其 他

(休職トス(期間中))

應召者待遇實例(追 補)

四六五

中央工業株式會社

東京市京橋區銀座二丁目

- 一、應召中支給額其期間 應召ノ月及翌月ヨリ三ヶ月間全額、以後二分ノ一支給
- 二、會社其他ノ餞別金 金二〇圓
- 三、戰死者(見舞香料等)
- 四、戰 傷 者 考慮中
- 五、社 員 補 充
- 六、從 業 員 補 充
- 七、共 他 應召中モ在籍ノ儘トス

東京市役所 東京市電氣局

東京市丸ノ内

一、應召中支給額其期間

吏員 現職ノママ勤續年數ニ加算シ應召中軍隊ヨリ受クル給與トノ差額ヲ支給ス
 雇員
 備員

東京市役所及區役所出動將士後援會規約(拔萃)

第八條 會員ハ事變終了ニ至ル迄左ノ區分ニ依リ毎月贖金スルモノトス、但シ理事會ハ必要ニ應ジ之ヲ増減又ハ停止スルコトヲ得

- 一、年俸吏員 俸給月額ノ百分ノ一
 - 一、月俸吏員 俸給月額ノ二百分ノ一
 - 一、雇員及備員等給料月額ノ三分ノ一
- 前項ノ贖金ハ毎月給料支拂ノ際之ヲ控除ス、但シ會員ノ希望ニ依リ即納ヲ妨グズ
 出動セル會員ノ會費ハ之ヲ免除ス

第九條 前條ニ依ル贖金ハ左ノ事業ニ支出スルモノトス

其ノ方法ニ付テハ理事會ニ於テ之ヲ決定ス

應召者待遇實例(追 補)

應召者待遇實例(追 補)

四六八

- 一、出動將士ノ歡送並慰問
 - 二、出動將士家族ノ慰問
 - 三、戰傷病者ノ慰藉
 - 四、戰病死者及其ノ遺族ノ弔慰
 - 五、凱旋者ノ歡迎慰勞
 - 六、其他銃後國防ニ必要ナル事項
- 出動シタル將士ニ對シテハ直チニ慰問金トシテ一人ニ付九十圓ヲ贈呈スルモノトス
出動將士ノ家族ニ對シテハ毎月左ノ通り慰問ス
イ、獨身者及家族一人ノ者 五圓
ロ、家族五人迄ノ者 一〇圓
ハ、家族六人以上ノ者 一五圓
- 戰病傷者ニ對シ贈呈スベキ見舞金ハ理事會ニ於テ其都度之ヲ決定ス 即時十圓ノ見舞金ヲ贈呈シ其ノ負傷程度ヲ考慮シテ贈呈額ヲ決定 戰病死者ニ對スル弔慰金ハ一人ニ付金三百圓トス
- 第十條 會長ハ毎月收支計算表ヲ作製シ之ヲ本市公報ニ掲載スルモノトス
附則 本規約ハ昭和十二年七月十日ニ遡リ之ヲ施行ス

東京市電氣局出動將士後援會規約

- 第一條 本會ハ東京市電氣局出動將士後援會ト稱ス
- 第二條 本會ハ今次事變ニ關シ召集セラレタル者及其ノ遺家族ニ對スル慰問並國防獻金等出動將士後援ノ完壁ヲ期スルヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ東京市役所及區役所出動將士後援會規約ニ基キ第三條但書ニ基キ電氣局所屬職備員及之ニ準ズル者ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第四條 本會ニ會長、副會長、及會計監督各一人並幹事若干人ヲ置ク
- 第五條 會長ハ電氣局長、副會長ハ理事ヲ以テ之ニ充ツ
會計監督及幹事ハ會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
幹事中會長ノ指名スル者ヲ以テ常任幹事トス
- 第六條 會長ハ會務ヲ總理ス
副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス
會計監督ハ會長ノ命ヲ承ケ本會ノ會計事務ヲ掌理ス
常任幹事ハ會長ノ命ヲ承ケ本會ノ常務ヲ掌理ス
會長、副會長、會計監督常任幹事及幹事ヲ以テ幹事會ヲ組織シ本會ノ重要事項ヲ審議決定ス
會長ハ幹事會ノ議長トナリ副會長ハ副議長トナル
- 第七條 會員ハ當分ノ内左ノ區分ニ依リ毎月贈金スルモノトス但シ出動セル會員ハ此ノ限ニ在ラズ
應召者待遇實例(追 補)

四六九

應召者待遇實例(追 補)

四七〇

一 職員 男子 俸給月額ノ二百分ノ一、五

女子 同 二百分ノ一

一 備員 男子 三十錢

女子 十五錢

前項ノ贖金ハ幹事會ノ決定ニ依リ臨時其ノ金額ヲ増減シ又ハ贖出ノ停止ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ贖金ハ毎月給料支拂ノ際之ヲ控除ス但シ會員ノ希望ニ依リ即納ヲ妨グズ

第八條

前條ニ依ル贖金ハ左ノ事業ニ之ヲ支出ス

一 出動將士ノ歡送並慰問

二 出動將士家族ノ慰問

三 戰病傷者ノ慰藉

四 戰病死者及其ノ遺族ノ弔慰

五 凱旋者ノ歡送並慰勞

六 國防獻金

七 其ノ他銃後國防ニ必要ナル事項

前項第一號ノ場合ニ於テ支出スル慰問金ハ一人ニ付五十圓トス但シ即日歸郷者ニ對シテハ二十圓ノ見舞金ヲ贈呈シテ之ニ代フルモノトス

第一項第二號ニ依ル家族慰問金ハ出動期間中毎月左ノ標準ニ依リ之ヲ支出ス

一 扶養家族(同居者)無キ者及家族一名ノ者 金五圓

二 同 上 二名以上五名迄ノ者 金拾圓

三 同 上 六名以上ノ者 金拾五圓

前二項ノ金額ハ幹事會ノ決定ニ依リ臨時之ヲ増減スルコトヲ得

第二項第三號以下ニ規定スル場合ニ於ケル其ノ支出金額並支出方法等ハ幹事會ニ於テ之ヲ決定ス

第九條

本會ハ國防獻金ノ資ニ充當スル爲第七條ニ依ル贖金ノ外幹事會ノ決定ヲ經テ必要ナル事業ヲ爲シ又ハ會員ヨリノ古雜誌、古新聞其ノ他煙草銀紙等ノ廢物寄附ヲ獎勵ス

前項ノ事業收益金並廢物換價金ハ幹事會ノ決定ヲ經テ別ニ之ヲ經理ス

第十條

本會ニ對シ金品寄附ノ申出アリタル場合ニ於テハ之ヲ受領シ其ノ處分ハ幹事會ノ決定ニ依ル

附 則

本改正規約ハ昭和十二年七月十七日ニ選リ之ヲ施行ス但シ第七條ノ贖出金額ハ八月以降ノモノニ付之ヲ適用ス

那須アルミニウム製造所

東京市本所區龜澤町二丁目

戦時事變兵役服務者待遇規程

第一條 使用人ニシテ歸休兵、豫備兵、後備兵、補充兵又ハ國民兵ノ軍籍ニアル者戰時又ハ事變ニ際シ兵役ニ服スルトキハ召集令狀ヲ提示シ總務課長ニ届出ヅベシ

第二條 前條服役者ハ召集ノ日ヨリ滿六ヶ月間ハ給料ノ全額ヲ支給シ以後給料ノ半額ヲ支給ス、但シ日給者ハ二十八日ヲ以テ一ヶ月トス

工員ノ日給ハ固定給ニヨル

雇入後引續キ滿一ヶ月間勤務セル臨時工員ハ前項ノ半額トス、但戰時事變兵役服務者待遇規定制定(昭十二年七月廿日)前ヨリ當社ニ勤務セル臨時工員ハ特ニ本工員ノ例ニ依ル其出征死傷ニ就テハ戰時事變出征死傷者待遇規定ニヨル

第三條 第一條ノ兵役服務者期間ハ召集令狀到着ノ日ヨリ其服務期間滿了後三日以内トス

第四條 應召中ハ欠勤トシ勤続年數ニ加算ス

第五條 現役トシテ入營中戰時又ハ事變ノ爲出征セル者ハ其日ヨリ給料ノ全額ヲ支給シ六ヶ月後ハ半額トス

戦死傷者ニ對スル取扱ヒ

	戦死	病死	戦傷
社員以上	三〇〇圓	二〇〇圓	一〇〇圓
備	二〇〇圓	一〇〇圓	七〇圓
工員	一五〇圓	七〇圓	三〇圓
臨時工員	八〇圓	四〇圓	二〇圓

但シ香費料ハ別ニ定ム

荏原製作所

東京市品川區西品川二ノ七五〇

統後の會規則

第一條 本會ハ荏原製作所全従業員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條 本會ハ「統後の會」ト稱シ北支事變ニ關シ軍事召集ヲ受ケタル會員家族ノ傷病災厄等特ニ困窮アル場合之ヲ救濟シ會員ヲシテ後顧ノ憂ナク應召軍務ニ精勵セシムルコトヲ目的トス

第三條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長 一名

二、幹事 若干名

第四條 會長ニハ荏原製作所社長ヲ推戴ス

幹事ハ會員中ヨリ會長之ヲ選任ス

第五條 會員ハ左ノ區別ニ從ヒ毎月會費ヲ醸出スルモノトス 但シ應召中ノ會員ハ此ノ限りニ在ラズ

一、職員

(1) 月俸百圓以上ノ者 二十錢

(2) 月俸五十圓以上百圓未滿ノ者 十五錢

(3) 月俸五十圓未滿ノ者 十錢

二、工員

(1) 定額日給二圓以上ノ者 二十錢

(2) 同 一圓以上二圓未滿ノ者 十五錢

(3) 同 一圓未滿ノ者 十錢

職員ニシテ日給ヲ受クル者ハ日給額ノ三十倍ヲ以テ月俸一ヶ月分ト看做ス

第六條 會社ハ前條ノ會費醸出額ト同額ヲ補助スルモノトス

荏原製作所

東京市品川区西品川二ノ七五〇

銃後の會規則

第一條 本會ハ荏原製作所全従業員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條 本會ハ「銃後ノ會」ト稱シ北支事變ニ關シ軍事召集ヲ受ケタル會員家族ノ傷病災厄等特ニ困窮アル場合之ヲ救濟シ會員ヲシテ後顧ノ憂ナク應召軍務ニ精勵セシムルコトヲ目的トス

第三條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長 一名

二、幹事 若干名

第四條 會長ニハ荏原製作所社長ヲ推戴ス

幹事ハ會員中ヨリ會長之ヲ選任ス

第五條 會員ハ左ノ區別ニ從ヒ毎月會費ヲ釀出スルモノトス 但シ應召中ノ會員ハ此ノ限りニ在ラズ

一、職員

(1) 月俸百圓以上ノ者 二十錢

(2) 月俸五十圓以上百圓未滿ノ者 十五錢

(3) 月俸五十圓未滿ノ者 十錢

二、工員

(1) 定額日給二圓以上ノ者 二十錢

(2) 同 一圓以上二圓未滿ノ者 十五錢

(3) 同 一圓未滿ノ者 十錢

職員ニシテ日給ヲ受クル者ハ日給額ノ三十倍ヲ以テ月俸一ヶ月分ト看做ス

第六條 會社ハ前條ノ會費釀出額ト同額ヲ補助スルモノトス

昭和十二年十一月三十日印刷
昭和十二年十二月五日發行

不許
複製

應法
召と
者實
待例
遇

編輯
行人
兼

印刷
人

印刷
所

村井末義
東京市芝區田村町五ノ一六

岩本菊雄
東京市芝區南佐久間町一ノ七

研文社
東京市芝區南佐久間町一ノ七

定價拾圓

送料
二錢

發行所

皇道日報社

東京市芝區田村町五ノ一六

電話芝三八九一番

H-10-69



